



SESERAGI—MISHIMA
ROTARY CLUB
WEEKLY REPORT

クラブ
週報

2015～2016年度 RI会長 K. R. ラビンドラン
RIテーマ 世界へのプレゼントになろう

クラブテーマ「明るく楽しいロータリー」会長 鈴木政則

副会長 中山和雄 幹事 石井邦夫

第1256回 例会
2015.12. 4(金)晴

司会:岡 良森君 指揮:勝又佳員君
ロータリーソング「奉仕の理想」

事務所 三島市中央町4-9 小野住環中央ビル2F
TEL.055-976-6351 FAX.055-976-6352

<http://www.seseragi-mishima-rc.jp>

せせらぎ三島ロータリークラブ

検索

例会場 ブケ東海三島
TEL.055-984-0120
毎週金曜日 第1・第3 夜間例会

会長挨拶

会長 鈴木政則君

11/23タイのルーイ県にて自転車贈呈式が行われ私達8名参加して参りました。このたびのタイ放置自転車贈呈は今回で13回目となり、お陰様で今までに約7000台の自転車を送る事ができました。日本からタイへ運び込まれた自転車は、タイ政府福祉局のご指導の元、組み立て直しをしなければなりません。



が、この組み立て作業が子供達の職業訓練になっているとお聞きし、嬉しく思いました。又、タイ国内約13500校の中学生・高等学校に通う生徒400万人の多くは学校までの距離が遠く、炎天下の中、徒歩で通学していると聞き、スリウォンロータリークラブが学校を通して、この贈呈自転車を学生に貸し出す事業をしてくれています。今ではタイの経済もいちじるしく発展している様ですが、現地ではまだまだ自転車が足りないという声を耳にしました。私達せせらぎ三島ロータリークラブは、そんな子供達のため、一度に400～500台の日本から運びこまれる自転車の組み立て作業費や贈呈先までの輸送費等25万円と図書代10万円を負担させて頂いていますが、この自転車を利用して子供達の生き生きとした顔を見るたび、この事業の手助けができて事に私達も大変うれしく思いました。この自転車が子供達の足となる事で、生活環境も良くなり、タイ国の地域発展のお役にたち、日本とタイ国の友好が末永く続くことを心より願います。そしてこのすばらしい自転車贈呈事業がこれから先何年も続けていかれます様、皆様のご協力よろしくお願い致します。

ようこそせせらぎ三島
ロータリークラブへ

濱田清明君(沼津柿田川RC)

おめでとう

入会記念日 12月22日 兼子悦三君
12月5日 杉山 隆君
12月27日 矢岸貞夫君



幹事報告

幹事 石井邦夫君

- 例会変更
三島RC 12月23日(水)祝日休会
12月30日(水)特別休会
三島西RC 12月24日(木)→25日(金)
忘年家族例会 プラザホテル
12月31日(特別休会)
伊豆中央RC 12月22日(火)
クリスマス家族会
12月29日(特別休会)
- 来週11日の例会は、各自直接山中の吊り橋に集合してください。お弁当は用意いたします。

出席報告

	出席総数	出席率	メイクアップ	修正出席率
前々回	28/34	82.35%	31/34	91.18%
今回	33/35	94.29%	会員総数	37名

欠席者 あなたが見えなくて残念でした。

石井(和)君、田中君

年次総会

せせらぎ三島ロータリークラブ細則第5条第1項年次総会、12月第1例会に本年度の年次総会を開催し、次年度の理事の選挙を行うものとする

このたび会長一任と云う事になりましたので、11月27日例会終了後に指名委員会を開催しました。出席者は、現理事9名と、会長が指名しました4名のパスト会長(兼子・中村・太田・大房)計13名により、会長が発表しました案が承認されましたので報告いたします。

次年度会長	中山和雄 君
幹事	米山晴敏 君
クラブ奉仕委員長兼副会長	山口辰哉 君
職業奉仕委員長	石井和郎 君
社会奉仕委員長	服部光弥 君
国際奉仕委員長	兵藤弘昭 君
会計	小林 勝 君
会場監督委員長	山口辰哉 君
直前会長	鈴木政則 君

次年度は上記の方々クラブをリードしていきますので、皆さまのご協力を是非、宜しく願います。



スマイルボックス

澤田 稔君(11月27日のスマイル):タイ自転車贈呈式での親子の感激した笑顔が目目に浮かぶ様で鈴木会長、石井幹事と、奉仕団のメンバー方々には暑さと遠方での日・タイ親善と超我の国際奉仕に貢献していただき誠に苦労様です。感謝申し上げます。

兵藤弘昭君:先日、タイ放置自転車贈呈プロジェクトにあたりまして、当クラブならびにゴルフ同好会の皆様より激励のスマイルをいただき心より御礼申し上げます。お蔭様で本年も大成功を取めることができました。ひとえに皆様一人一人のご協力があつてこそその賜物と痛感し重ねて感謝申し上げます。皆様の熱い気持ちはタイの子供たちに確実に届けることができました。本日、タイ放置自転車贈呈式典の状況を発表させていただきます。師走の忙しい時間まことに恐縮ですが少々お時間をいただきます。よろしく願います。

宮澤正昭君:来週は私の卓話でしたが、吊橋見学の特別例会にして頂きました。三島スカイウォークは、日本一の歩行者専用吊橋ですので、会員の皆様にはゆっくり見学していただきたいと思ひます。当日晴天になりますよう祈ってスマイルします。

杉山 隆君:休みが多くてすみません。人手不足で現場の打合せ、施工、すべて参加してます。さすがにつらいです。

岡 良森君:忘年会シーズンですね。毎年東京でやってる同期忘年会、今年は福島でやることになり明日、あさってハワイアンセンターに行つて来ます。

石井司人君:先週の卓話は倅にたのみました。実は急性の心筋梗塞が私をおそっていました。事前に自覚症状を感じましてカテーテル治療で元気になりました。10日間の入院でした。3本中の2本を治しましたが後1本を来月中旬に治療してもらえばお酒も大丈夫です。

卓話 タイ放置自転車贈呈式報告

国際奉仕委員長 兵藤弘昭君

鈴木政則会長の現地ルーイ県 Chiang kan(チェングカン)地区学校においてお話をされた内容を代読させていただきます。

「こんにちは。私達は国際ロータリー第2620地区静岡第2分区のせせらぎ三島というロータリークラブの会員で、私はこのクラブの本年度会長の鈴木です。このたびのタイ放置自転車贈呈は今回で13回目となり、今までに5500台の自転車を皆様に送る事ができました。日本からタイへ運び込まれた自転車は、タイ政府福祉局のご指導の元、組み立て直しをしなければなりません、この組み立て作業が子供達の職業訓練になっているとお聞きし、嬉しく思います。又、タイ国内約13500校の中学生・高等学校に通う生徒400万人の多くは学校までの距離が遠く、えんてんかの中、徒歩で通学していると聞き、スリウォンロータリークラブが学校を通して、この贈呈自転車を学生に貸し出す事業をしてくれています。今ではタイの経済もいちじるしく発展している様ですが、現地ではまだまだ自転車が足りないという声を耳にします。私達せせらぎ三島ロータリークラブは、そんな子供達のため、日本から運び込まれる1回に400~500台の自転車の組み立て作業費や贈呈先までの輸送費等合計25万円を負担させて頂いていますが、この自転車を利用して子供達の生き生きとした顔を見るたび、この事業の手助けができてい事に私達も大変うれしく思います。この自転車が子供達の足となる事で、生活環境も良くなり、タイ国の地域発展のお役にたち、日本とタイ国の友好が末永く続くことを心より願います。そしてこのすばらしい自転車贈呈事業をこれから先何年も続けていけます様、皆様のご協力よろしく願います。」

なお、合同開催された8ロータリークラブの中から誉あるトップバッターで当クラブは会長が挨拶されました。これはひとえに13年にわたるスリウォンロータリークラブとの長年の友好関係と多くの実績がそうさせたと痛感いたしました。以上、これをもってタイ放置自転車贈呈ならびに図書贈呈の発表をご報告させていただきます。

